



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2024～2025年度 RI会長 ステファニーA.アーチック
RIテーマ ロータリーのマジック

クラブテーマ「ロータリーの理解を深め、地域社会にロータリーのマジックを広めよう」

会長 仲原実圭 幹事 原 兄多

第1603回 例会 2025. 4. 25(金)晴

司会：高村勝則君

ロータリーソング「それでこそロータリー」指揮：杉山寿美子君

事務所 三島市泉町9-8 1F南

TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 仲原実圭君

先週の土曜日に米山記念館春季例祭が行われました。当クラブからは佐野彰重君、米山奨学生の前君と共に参加しました。矢岸PCは米山記念館の運営委員長として日々ご尽力いただいております。また長泉町の米山という事で地区のロータリアンからは米山梅吉の親戚だと言われ続けている米山PCは毎年記念館に多額の寄付を続けています。このような各地のロータリアンの寄付などにより、今年の3月にリニューアル工事が完成しました。その中で目を引いたのが米山翁の肖像画がAIによってしゃべるという映像でした。かつてディズニーランドのアトラクションで見て以来のことでした。音声は 米山翁の子孫の声を利用して音声にしているので生前の米山翁の声に限りなく近いだろうとの事でした。皆さんも、是非見学に行ってみてください。

そして、先週？今週？ここで皆さんにアンケートですが、皆さんは週の始まりは月曜日ととらえている方？日曜日ととらえている方？（月曜日40%日曜日60%ぐらいの割合でした）

※参考：日付等に関する国際規格は「ISO8601」で、曜日のコードが定められ、月曜日が1 で、日曜日が7とされ、月曜日を週の最初の日ととらえています。ただ、これらの規格で週の始めを月曜日とされていますが、広辞苑における「日曜」の字義は「週の第1日」を基本 とされています。

今週の日曜日は2025-26年度の地区協議会に参加しました。当クラブからも15人前後のメンバーが参加しました。私は分科会でRLI委員会に参加しました。詳細は後ほどご報告いたします。次年度は伊東西RCの稲葉雅之ガバナーとなります。今月のロータリー活動月間は《環境》です。

ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守る事が重要だと信じています。

この『環境』は、2020年にRI理事会とロータリー財団管理委員会が「環境の保全」、のちに「環境」という新たな7つ目の重点分野として追加しました。

ロータリー財団は、ロータリー会員と地域社会の協力者たちによる以下のような活動に補助金を提供します

- ・陸地、沿岸、海洋、淡水資源の保護と回復
- ・天然資源の管理と保全を支援する地域社会の能力向上
- ・持続可能な農業、漁業、水産養殖の実践の支援
- ・温室効果ガスの排出削減による気候変動の原因への取り組み

- ・気候変動の影響を受ける生態系と地域社会の強化
- ・環境を守る行動を促すための教育イニシアチブの支援
- ・より資源効率の高い経済を築くための持続可能な消費の提唱
- ・環境正義の問題と公衆衛生上の懸念への取り組み



ロータリー創設者ポール・ハリスが植樹愛好家であったことは、ロータリーではよく知られた事実です。世界中を旅したハリスは、訪れる先々で「友愛の木」を植えました。また、ハリスの自宅を訪れた海外客たちも、記念に友愛の木を植えるのが習わしでした。1935年来日したハリスが帝国ホテル(東京)の庭に植えた月桂樹は、後に枯死寸前になっていましたが、挿し木によって数本が生き延び、「ポール・ハリスの月桂樹」2世、3世として今も日本各地で元気に育っています

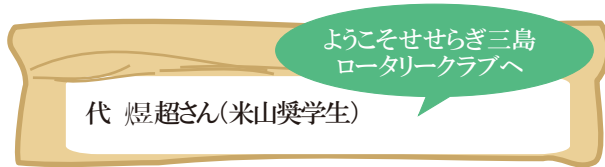
では実際のロータリアンたちの活動を紹介します。

ゴミを住居に変える(インド)

バイブラント・ヴァルサル・ロータリークラブ(インド)会員である社会起業家ビニシュ・デサイさんは、エコ製品のパイオニアであるEco-Eclectic Technologiesを創立。大量の産業廃棄物と家庭ごみをリサイクルして、さまざまな製品を作っています。その一つ、紙のごみから作ったレンガは、何千もの低コスト住宅やインド農村部スラムのトイレの建設に使われています。



不要なものを役立つものをつくるという
信念を持ちつづけることです



代 焔超さん(米山奨学生)

出 | 席 | 報 | 告 |

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/40	65.00%	29/40	72.50%
今回	26/41	63.41%	会員総数	43名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

新井君、石井君、伊丹君、入江君、加藤(貴)君、小林君、杉橋君、鈴木君、芹澤君、高橋(麻)君、土屋君、成川君、藤川君、矢岸君、渡邊君 (*出席免除会員の欠席者 片野君)

地区研修・協議会報告

会長エレクト 服部光弥君

2025～2026年度 国際ロータリーのテーマは「UNITE FOR GOOD」～よいことのために手を取りあおう～がテーマとなり、そのテーマを实践するために「革新」「継続性」「パートナーシップ」と3つの柱が打ち立てられました。

①「革新」会員増強の重要性。新しい仲間を迎えて新陳代謝を促す。

②「継続性」年度を超えて連携する大切さ。具体的に伝えると前任者や後任者により協力し、クラブが取り組んできたことや根付いてきたことに目を向ける。単年度の連続を止めて連携維持していくこと。

③「パートナーシップ」我々の価値観を共有・拡大していく。一番印象に残ったことは

2018～19年度星野パストガバナーが閉会挨拶での言葉。

「新しいことがたくさんあり、ほんとロータリーは変わったなあ…。変わらなきゃいけないんだなあ…。世の中、どんどん変化していく。そこだよ。私たちも変化しなきゃ…。そしてクラブはどのように変化していくのか？変化させていくのか？」

米山記念奨学部会 高橋麻子君

研修に参加し、まだ役職名を聞いてもどのような立場の方なのかピンと来ない状況ですが、海外で多岐に渡る活動をされている方々の取り組みを知り、驚きました。

古着でワクチン等私自身が出来る事は微力ではありますが、それが国際規模になると大きなパワーとなり多くの子ども達の命を救うのだなあと感じました。また研修中に案内のあったJAPANポータルサイトについても後日閲覧しました。ドミニカ共和国での浄水器設置の際、汚い水がフィルターを通り透明な水となって出て来る様子を見た少年が「もう一度魔法を見せて」と言ったエピソードを見てカンボジアでの子ども達の笑顔を思い出しました。

今後も与えられた責務を果たし、多くの方々に笑顔に出来るよう励みたいと思います。

地区研修協議会に参加しましてマリオ・セガール RI 会長のスピーチの中で感じた事を話します。

私が特に印象に残ったのは「ロータリー最大の財産は会員である」という言葉です。長い歴史や数々のプロジェクト、確かに素晴らしいものですが、ロータリークラブの会員は地球上で最も有能なボランティアチームであると、おっしゃっていました。

又、多くのクラブで課題となっている高齢化に対して最も有効な解決策は新会員を増やすことです。しかし、安易な会員数の増加は質の低下につながるのではないかという不安があります。医療・福祉・法律などの専門職、重ねて教育分野からの入会で価値観の多様性と高い専門性をクラブにもたらし質の維持、向上につなげていきます。

こうした、会員増強は質の高い奉仕事業の継続につながり会長の「ロータリーの最大の財産は会員である」という言葉の現実性を強めて行くでしょう。

そして、2025～26年度RI会長テーマは

「UNITE FOR GOOD 良いことのために手を取りあおう」です。

会員増強のご協力よろしくお願いします。

ロータリープログラム部会 新井博薫君

ロータリープログラムに参加させていただきました。この分科会では青少年交換プログラム、インターアクトプログラム、ロータリーにおける危機管理についての活動方針をお聞きました。

次世代を担う青少年の育成を通し異文化に接し、国際理解と平和を推進していく活動をし、参加した学生は異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現していく。という青少年への意識改革をしていく事がこの先に出会う様々な奉仕活動の一環を担っていくのだと思いました。この先の未来を担っていく青少年、その青少年を育成していく奉仕活動。自分の中でロータリークラブの活動がまた一つ増えました。貴重な経験をさせて頂きありがとうございました

「ビジョンなき行動は無意味であり、行動なきビジョンは夢でしかない。ビジョンのある行動は世界に希望をもたらす」

公共イメージ部会 野村諒子君

1. MyROTARYの100%登録を目指して、登録に向けたマニュアルを地区HPで公開

2. ITリテラシーセミナーの動画を作成し、公開されます。

ロータリアンとして、Microsoft Word、Powerpointを活用しITスキルの向上を目指しましょう。使い方の動画を委員会として作成します。地区のHPで動画が公開されますので、各自ご覧になりITのスキルアップを、目指していきましょう。

3. デジタルよろず相談の活用

24～25年度と同様に、よろず相談所を継続しますので、活用してください。(パンフレットで活用の仕方をご覧ください)

4. 「ロータリーの友」の電子版がありますので、活用してください。会員勧誘の際に、ロータリーの友のURLを紹介し、読んでいただくように活用してください。パスワードは、各ロータリークラブの事務局のID、パスワードでログインとなります。

研修を受けて、2025～2026年度の取り組み、ロータリーの友を読んだ感想を、例会で発表していただく機会を設けたいと思います。ご協力をよろしくお願いします。

RLIファシリテーター 仲原実圭君

最近RLIがだいぶ浸透してきたようで前回は50名(定員42名)の申込がありました。第2620地区のRLIはZOOMでの開催なので参加しやすく、大阪や岐阜・和歌山など多くの他地区からの参加も多く以前より申し込み者が増加しているようです。また、RLIの受講者は会長・幹事エレクトや各委員会委員長候補者の参加や入会3年未満の会員の参加が目立ってきております。しかし、1講座の人数が多すぎることから次年度からは定員が36名となります。ご希望の方は早めにお申し出ください。

2025-26年度RLI日程 パートⅠ 10月12日(日) パートⅡ 11月16日(日) パートⅢ 2026年1月18日(日)

今回の地区協議会ではデモンストレーションのRLIを25分ほど行いました。私は『ロータリー財団』の口座を担当し、ファシリテートを行いました。まだ受講されてない方は是非ご参加ください。

ロータリー財団の重点分野



社会奉仕委員会 加藤正幸君

いろいろな話がありましたが私は二つの事について感想を話します。

一つ目は

魅力あるクラブ作りを心掛ける事

笑顔で楽しく・やりがいがあり誇りをもって活動していく事

これらのことが新会員増やす事・退会者を無くす事など

色々なロータリー活動の広報にも結び付くのではないかと思います。

二つ目は

イベント最後に行う手に手つないでの恒例行事

この曲は東京ロータリークラブの方が戦後の復興を願い作ったそうです。

皆で手に手を取って頑張りましょうの願いを先輩ロータリアンが声掛けしてくれた事に感銘を受けました。

次年度RIメッセージ《良いことのために手を取り合おう》

この方針にも叶ってる歌ですね。

多くのロータリーソングが活動の礎になっていると思います。

今まで余り歌詞について考えていませんでしたが先輩たち凄いですね。

服部次年度会長メッセージ《笑顔のために手を取りあおう》

「手に手つないで」の歌のようにメンバー皆で盛り上げて行きましょう。



スマイルボックス

中山和雄君:先日のゴルフ同好会で優勝したのでスマイル致します。スコアはパープレイでした。同伴者の皆さんありがとうございました。

芹澤宏昌君:先日のゴルフコンペお疲れ様でした。準優勝しましたのでスマイルします。

高村勝則君:この間ゴルフコンペで3位になりました。ベスグロです。スマイルします。

田村康晃君:せせらぎ三島ゴルフコンペにて13位になりました。佐野君に負けてくやしいです!

野村諒子君:子宮頸がんワクチンについて学ぶ研修会を開催します。娘さんがいる方は奥様にチラシを紹介してください。情報を知ることは大事です。宜しくお願いします。

宮澤友一君:早退します。皆さん淋しいとは思いますが私も淋しいですので、また次回お会いしましょう。

おめでとう

会員誕生日

2月7日 吉村真人君

4月20日 大庭靖貴君

4月28日 遠藤修弘君



幹事報告

幹事 原兄多君

来週(5月2日)は休会です。

次回例会は5月9日(昼例会)です。

来年度の名簿の記載内容に変更がある方は事務局までお申し出ください。

5月21日の小泉ガバナー杯ゴルフにご参加の方は、事務局に参加費(6000円)をお支払いください。

